（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	コペルプラス蘇我教室			
○保護者評価実施期間	2026年8月1日	～	2026年8月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	2026年8月1日	～	2026年8月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年9月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが安心感をもって通所している。	お子さまに楽しんでもらえるように事前に準備をしたり、指導員同士で前回、前々回の様子を共有しています。スモールステップを心掛け、できた！という気持ちを大切にしています。	楽しんでもらえることも大切ですが、より専門的に支援する・みんなが同じ方向を向いている事も大切だと思うので、カンファレンスの時間を増やしていきたいです。
2	個別支援計画に沿った支援が行われている。	個別支援計画書を全体で共有している事で、個別支援計画書に沿った支援が出来ていると思います。またレッスンに入るおこさまの個別支援計画書を準備の段階で再度確認しています。	忙しい時などには個別支援計画書を再度じっくり読み直す時間をとるのが難しいこともあると思いますので、ファイルに分かりやすく掲示していければと思います。
3	お子さまのことを十分に理解し、お子さまと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	モニタリングやアセスメントで保護者さんのお話を聞いたり、職員同士でお子さんの日々の様子を共有したりしている事で、ニーズや課題に合わせて個別支援計画書の作成することが出来ています。	お子さんの課題をより詳しく知るために、お子さんの様子を共有する時間をもっと増やしていきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているが、周知が十分でない。	避難訓練の実施はしているが全部の時間帯や日にちで出来ているわけではないので、知らない方もいらっしゃることが要因だと思われます。	避難訓練の様子を貼り出したりして、実施している事を皆様に周知できるようにしていきます。
2	障害特性に応じた設備面や安全面への配慮が必要である点。	教室が2階となっており階段も急なので、ベビーカーの方や注意散漫のお子さまだと危ない様子が見られます。	階段は事業所外なので下までお子さまと一緒に行くのは難しいですが、ベビーカーを持ったり扉をあける等のお手伝いをして、安全に降所できるようにしていきます。
3	保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会が限られており、周知も十分でない。	保護者会は年長さん向けに開催しているが、時期的に周知が行えていないタイミングであることが要因かと考えられます。	年長さん向けだけでなく、様々な年齢層に向けた保護者会を開催することを目指していきます。